

リメイクチーム花水木からのお知らせ
素肌にさわやか！Tシャツぞうり教室

6月25日(月) 13:30 港北区社協 3F 団体交流室 I
 7月20日(金) 13:30 港北区社協 3F 団体交流室 II
 9月4日(火) 13:30 港北区社協 3F 団体交流室 I

参加費：500円
 材料費：200円

各回8名まで。初参加の方は4名まで。
 お申込みは **大倉山店 045-547-6241** へ

古いTシャツが大変身。初めての方でもこんなにかわいいのが作れますよ。



活動日誌

小さなまちのちいさな平和展 3/5(月)~3/9(金)ギャラリーかれんにて
 平和を願う9団体が主催。憲法改正への危機感が強く感じられるメッセージの展示が目立ちました。こうほくも平和を願い、活動紹介と、ジンジャーティー、エコ手袋、手作り品の紹介・販売をしました。

学習会「現実化する憲法改正に向き合う」 3/7(水)かながわ県民センターにて
 WE21ジャパン主催。こうほくから8名が参加。改憲推進派、反対派の両方を取材されてきた神奈川新聞記者、田崎基氏に現在進行中の議論についてお話を伺いました。

第10回錦が丘桜まつり 3/25(日)錦が丘ロータリー・町内会館など菊名駅周辺にて
 錦が丘町内会主催。はじめて参加し、アシーラ石鹸、ジンジャーティー、エコ手袋などを出展しました。地域の方々と交流することができ、WEショップを知っていただく機会になりました。

らくらく市 2018 (since1986) 5/20(日)菊名地区センター前広場にて
 らくらく市実行委員会主催。「障害があってもなくても、まちの中でもともにらくらくと生きていこう」を合言葉に32団体が参加しました。WEショップのテントにも大勢の方が立ち寄ってくださいました。

楽しい！らくらく市

お天気に恵まれた当日は人出も多く、なによりも屋外の解放感の中で楽しく活動できました。並べた品物や支援品をきっかけに、私たちの活動が、来てくれた方に伝わっていくのを感じました。次回は是非皆さんも一緒にしましょう！ 大倉山店マネージャー 矢部千恵子



イベントにはこの商品と支援品

ぜひ一緒に



ボランティア募集

ショップボランティア：ショップの接客、整理整頓など。月に2回2時間程度から。

- * 交通費実費払い
- * ボランティアミーティングを随時開催。仲間との親睦も深まります。



大倉山店

アニバーサリーセールのお知らせ

開店16周年の感謝をこめて、恒例の半額セールを行います。

7月17日(火)~20日(金)
 みなさまのお越しをお待ちしています！



WE21 ジャパンこうほく ニュース

認定特定非営利活動法人WE21 ジャパンこうほくは リユースリサイクルのお店「WEショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民衆支援活動をしています。

発行 NPO法人WE21 ジャパンこうほく 港北区日吉 2-12-7 TEL/FAX 045-563-1808 2018年6月

<https://www.facebook.com/we21kouhoku> <http://we21kk.org/> **NO. 124**



新年度がスタート

第14回総会が5月29日開催され、提案された議案はすべて承認されました。力を入れて支援を続けてきたカンボジア・シーライツや、一昨年度より支援を始めた新横浜・子どもセンターてんぼについての質問など活発な質疑応答があり、今年度の活動方針について理解が深まりました。

退任役員紹介 運営委員 平井里枝さん 運営委員 御簾納明美さん

代表よりご挨拶

2017年度は 会員の方々・地域のみなさま、そして行政のご支援ご協力をいただいたおかげで、リユースリサイクル事業・民衆協力事業ともに、新しいことに取り組み、活動を前に進めることができた年になりました。心より感謝申し上げます。

なかでも2017年度の一番大きな成果は、10月に福島原発事故6年目の浪江町・いわき市に10名が、そして12月によこはま夢ファンド組織基盤強化助成金を得て、7名でカンボジア支援先に訪問できたことでした。寄付していただいた品物をボランティアで販売した汗の結晶の収益金が、どのようなところでどう活用されているのかを、たくさんの方の目でしっかり見ていただくことができ15周年を記念する事業となりました。

またよこはま夢ファンド助成の果実はカンボジアツアーの実施の成果だけでなく、専門のファシリテーターによる2回の「自己評価」が大変有意義であったことです。参加した運営委員会メンバー一人一人が自由に発言し、3時間があっという間に過ぎました。「店内に緑を」「キラキラコーナーを作る」「詰め放題」などすぐ実行につながったもの、「地域の拠点に」「夜、ショップでイベントを」なども提案されました。

「3年後はどんな団体になっていますか、そのために私ができること」では、これからやっていきたいことがたくさんありました。「知名度をあげたい」「地域で有名に」「チャリティショップとして認知されたい」などは3年以上かかることかもしれませんが、「地域の拠点に」「地域に密着した活動を」などは、今年度の方針になり「居場所づくり~カフェ作戦」につながっています。

チャリティショップから民衆支援をベースに、みなさんにご支援ご協力いただきながらいろいろなことができる場所、WEショップってそんな場になればいいな、と思っています。

どうぞ今年も、楽しくご一緒してください。 砂田正子 (代表運営委員)



寿町を知るワークショップ 報告者 谷本コズエ(運営委員)

会員に事前に送付された詳しい報告書をもとに、2月寒の中の一泊二日の「寿わく(フィールドワーク)」体験を報告しました。今回の参加者は年齢も職業も幅広く、関東各地からの参加だったとの事。通算4名による講演、炊き出し、町内見学、簡易宿泊所や作業所への訪問、夜回り、バザーなどなどびっしりと組まれたプログラムの中で、1番印象に残ったのは夜回りだったそう。路上生活者との会話や、路上に新聞紙を敷いて寝転がり足音を聞くプチ路上体験の紹介は臨場感がありました。プログラムを通じて、様々な団体が支え合い、ともに活動している様子がわかったそうです。

ショップの寄付品の男性衣料のお譲り先のひとつとして関わりの始まった寿町ですが、現在はバザーや年末の炊き出し、夏祭りに有志が参加したり、こうほくとして関係者のお話を伺う機会も持っています。

「これからは毎月バザーに行きます！」(谷本さん談)

交流の集い報告

総会後には親睦会を兼ねた支援先報告会をもちました

コーヒーの森事業 報告者 門永さつき(運営委員)

支援地フィリピン・コーディリエラ地方のコーヒーを飲みながら、パワーポイントで写真を見ながらの報告会でした。事業内容の報告は、なか面の記事をご覧ください。今までカピタココーヒーとして扱ってきたフェアトレードコーヒーは、仕入れ先がかわり「シサムコーヒー」になりました。味わいもパッケージもグレードアップしています。

そして、今年度はこうほく単独のフィリピン支援地訪問ツアーが予定されています。「種からキッチンまで」のコーヒーの森づくりを見に、そして「寄付品から支援先まで」のWE21 ジャパンこうほくの活動を実感に行きませんか。

主な活動指標

会員数	53名
WE ショップ事業	16,776,742円
寄付者数(延べ人数)	5,094名
ボランティア数(延べ人数)	1,910名
民祭協力 総額	2,123,764円
収益金より	1,582,570円
店頭募金・寄付金	461,394円
フェアトレード	79,800円



こうほくメンバー7人でカンボジア・タナオを訪問し、現地の先生から子どもたちの話を聞きました。



「コーヒーの森づくり事業」報告

WE21ジャパンこうほくでは、2010年10月からフィリピンベンゲット州のコロス集落（2016年度からはタビヨ集落も）の住民組織に支援をしています。

2009年の台風災害に見舞われた土地にコーヒーなどを植林し、土砂崩れなどが起きにくくすることと水源を確保し環境回復と生活向上を行うためのプロジェクトです。

2018年1月コーヒーの森づくり事業支援連絡会のメンバー（WEいせはら、WEよこすか、WEみなみ）がモニタリングに行き、コロス集落、タビヨ集落の受益者の農場や郡のコーヒー加工センター見学とWE21ジャパンが受託して支援連絡会と協働で行っているJICA事業の研修見学に行ってきました。また、今後のマーケティングに向けてルソン島東海岸のコーヒーショップ見学をしました。

・今回のモニタリングではアラビカ種の中でもムンドノーボという種類のコーヒーの生育が良かったことが確認できました。

・WE21ジャパンこうほく10周年記念の招へい事業で来日したフェリーさんの農場がフィリピンの有機農法農家の認証を受けました。

・JICA事業の研修にはJICA事業対象ではないコロス集落のフェリーさんも参加し3つの住民組織の活動状況を共有しました。また、コーヒー加工センターを稼働させることについて3住民組織とコロス集落の組織が話し合うことになり、稼働に向けて一歩前進しました。



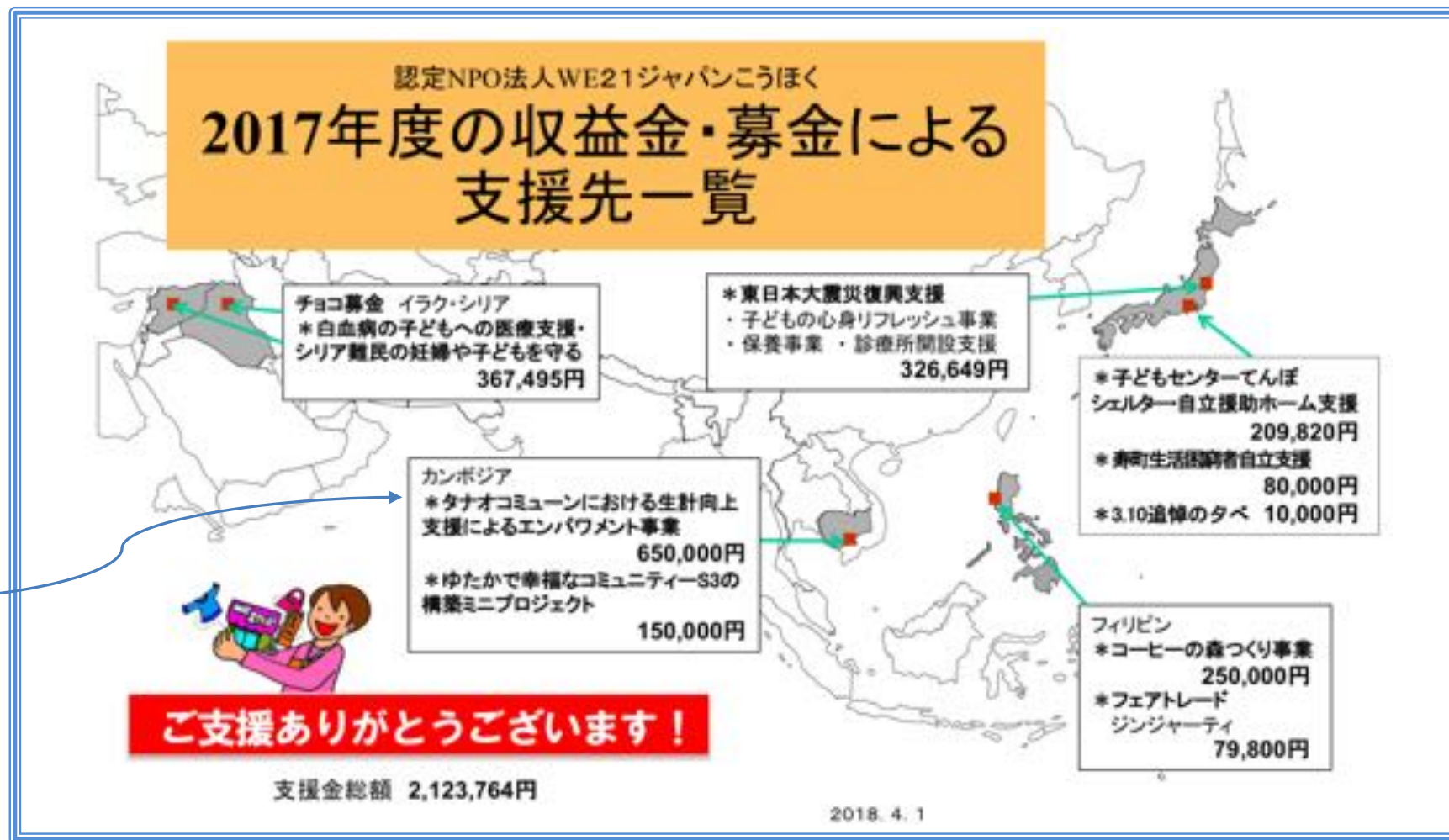
虫食いのある豆は不適格に



コーヒーショップにて



フェリーさんの有機認証の看板



10月の福島ツアーで訪ねたオリーブプロジェクトのオリーブ基金に参加を決め、日吉店に2本、大倉山店に1本のオリーブの木がやってきました。4月には花が咲きました。



チョコ募金キャンペーン (2017.12.9~2018.2.10)

募金額はチョコレート・カード合計 605 個分 332,500円と店頭募金 34,995円、合計 367,495円となりました。JIM-NETを通じて主にイラク戦争によるがん、白血病を患っている子供たちの医療支援のために使われます。このキャンペーンへの協力は11年目となり、今回は募金の一口額の設定が高くなりましたが、十分な医療が受けられない子供たちの厳しい状況は続いています。引き続きみなさんのご協力をよろしくお願いします。

「3.11を忘れない」キャンペーン (5.7.9.11.1.3月の11日前後)

奇数月に、いわき食彩館の福島産品などを取り寄せ販売しました。3月には311円均一なども企画し、「忘れない」思いをお客様と共有しました。



【福島子どもこらっせ神奈川への支援】

7月11日の全売上げ 70,571円と店頭募金(7/1~8/9)20,087円の合計 90,658円を子供たちの保養プログラムに取り組むこらっせに寄付しました。

【NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちねへの支援】

3月12日の全売上げ 94,702円を含め、170,000円をたらちねに寄付しました。たらちねは、生活環境の汚染を測定し情報提供する活動に加え、検診センターを併設して子供たちへの影響をいち早く検知する事をめざしています。

